

2025年3月6日

地域金融機関向けに、カスタマイズ可能な AI アプリを開発するソリューション 「DataRobot Enterprise AI Suite」の提供を開始

BIPROGY は、DataRobot, Inc.が提供するカスタマイズ可能な AI アプリを開発するソリューション「DataRobot Enterprise AI Suite（データロボット エンタープライズ エーアイ スイート）」（以下：「DataRobot」）を、地域金融機関向けに本日から提供を開始します。

「DataRobot」は AI アプリケーションと AI プラットフォームから構成され、お客様のビジネスプロセスに統合しやすく、チームが、AI を開発、提供、管理することを支援します。地域金融機関のマーケティング、与信、不正検知などの業務への適用が可能です。「DataRobot」を活用し、ビジネス課題の抽出から業務適用までの AI をビジネスに活用する「AI サクセスサービス」とあわせて提供することで、AI を活用した業務効率改善や収益性向上に向けた取り組みを支援します。

BIPROGY は、データ活用による成果を最大化するためのパートナーとして、引き続き地域金融機関の DX 推進を伴走支援していきます。

【背景】

近年、地域金融機関では、保有する膨大なデータを活用し、ビジネス課題の特定や改善に取り組む動きが加速しています。なかでも、マーケティング、与信、不正検知などの領域では、機械学習モデルを活用して業務効率化や生産性向上を図るためのデジタルトランスフォーメーション（DX）の検討が進んでいます。しかしながら、データから価値を創出しビジネス課題を解決するための DX 人材の育成や確保に向けた課題のほか、外部への委託を進めるとナレッジを蓄積できない、簡単な仮説検証でも時間がかかる、実際の運用に向けた精度改善が不十分などの課題を抱える地域金融機関も多く存在します。

BIPROGY は、これらの課題を解決するために、地域金融機関における幅広い業務で AI プロジェクトを効率的に実用する「DataRobot」と、「DataRobot」を活用し、ビジネス課題の抽出から業務適用までの AI をビジネスに活用する「AI サクセスサービス」の提供を開始します。

【「DataRobot」の概要】

「DataRobot」は、AI の導入と運用におけるさまざまなビジネスリスクを最小化し、ビジネスインパクトを最大化する AI アプリと AI プラットフォームを提供します。

AIアプリ AI利用者 ビジネスユーザー エグゼクティブ	サプライチェーン	オペレーション	財務・会計	顧客サービス	営業	リスク管理	その他多数
	エージェントフロー	データ分析	デジタルアシスタント	予測に基づくコンテンツ生成	コンテンツの要約		
	生成AI						
AIプラットフォーム AI運用者 MLエンジニア AIエンジニア DevOps IT & セキュリティ	AI開発者 データエンジニア		データサイエンティスト		ソフトウェア開発者		
	予測AI						
	AIオプティマイズ						
	AIガバナンス						
	AI基盤						

AI アプリは、お客様のビジネスに適したカスタム AI ソリューションを構築し、データを保護するとともに、日常業務にシームレスに統合できます。AI プラットフォームは、AI チームの役割に合わせた多機能なツールを提供します。これにより、パーソナライズされたコンテンツ生成から、より複雑なビジネスワークフローまで、短期間でビジネス価値を提供します。DataRobot の機能の一つとして、データ分析機能を提供し、AI モデル構築機能と、AI モデル運用・ガバナンス機能を提供し、AI の構築、運用、ガバナンスのライフサイクルを一元的に管理することができます。データ準備からモデル構築、運用までを高度な専門知識がなくても実施することが可能です。

【AI サクセスサービスの概要】

「DataRobot」を最大限に活用し、ビジネス課題に合わせたテーマの創出や、AI を活用した具体的なビジョンや目標、アクションの定義など、お客様が成果を出すための AI プロジェクトに伴走します。データレビューやモデルレビューに加えて、業務適用に向けた実装や運用から改善まで、幅広く支援を提供します。

想定している活用方法は以下の通りです。

・マーケティング

データドリブンアプローチで、よりニーズを持った顧客を精度高く捉えることが可能

・与信

個人融資や限度額、企業格付け分析をデータ AI で自動化

・不正検知

AML や不正請求などの不正検知を人の KKD（勘・経験・度胸）からデータドリブンな意思決定に置き換え、高度化・自動化を実施

【今後の取り組み】

BIPROGY は、長年にわたる地域金融機関向けソリューション提供で培った技術力やお客様業務の知見を活かして、地域金融機関向けのデータ利活用サービスの取扱いを推進・強化し、データ蓄積や分析基盤の構築、データ連携、データの探索や加工、人材育成など、さまざまなサービスを今後とも提供していきます。引き続き BIPROGY は、地域金融機関がデータを最大限に活用し、効果的な意思決定を行えるよう支援していきます。

以 上

【エンドースメント】

DataRobot Japan 株式会社
カントリーマネージャー 馬場 道生 氏

DataRobot の新しいブランドとして発足以降、初となるパートナーとして BIPROGY 様が協業頂けた事を心より御礼申し上げます。地方金融機関をはじめとした BIPROGY 様のお客さまに対して更なる AI アプリの短期導入と成功事例の創出をご支援して参ります。

■ 関連リンク：

「DataRobot カスタマイズ可能な AI アプリ開発」

<https://www.biprogy.com/solution/service/datarobot.html>

※会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

https://www.biprogy.com/newsrelease_contact/

BIPROGYグループの「経営方針（2024-2026）」

「持続性のある事業ポートフォリオ確立による企業価値の向上」、「経営資源配分の最適化」、「グループ経営基盤の強化」の3つの基本方針を基軸に、「コア事業」と「成長事業」の両輪で事業拡大を図ります。

コア事業	成長事業
集中と選択により強みのある領域を確立し 提供価値と収益性を高める	積極的な投資により提供価値を高め 新たな収益基盤を確立する
<ul style="list-style-type: none">注力領域の明確化により強みある領域の確立開発生産性・安定性の向上サービス型ビジネスの拡大	<ul style="list-style-type: none">新たなサービス領域の獲得と成長市場におけるシェア獲得社会課題を解決する社会DX事業の共創・展開の加速ASEAN主要国でのビジネス展開
ファイナンシャル リテール エネルギー モビリティ OTインフラ	市場開発 事業開発 グローバル

【コア事業での取り組み】

BIPROGY グループが経営方針（2024-2026）で掲げるコア事業戦略として、五つの注力領域を定め、経営資源の集中により高い価値提供を目指します。本ニュースリリースの事業は、「ファイナンシャル領域」における取り組みと位置付けています。

BIPROGY グループは、多くのステークホルダーとの共創を通じて、地域経済の活性化を支援し、持続可能な社会の実現を目指します。

※BIPROGY グループ経営方針（2024-2026）

<https://www.biprogy.com/pdf/com/managementpolicy2024-26.pdf>